



「やさしく 正しく 進んで」を目指して

校長 佐久間 郁子

今年度、山田小学校が子どもに育みたい力については、4月の学校便りとPTA総会で少し触れましたが、改めて詳しくお伝えします。

激しい変化が予測されるこれからの社会を生きていく子どもたちには、自ら考える力と共に生きようとする力、自分自身を支えていく力の育成が私たちの責務だと考えます。そのために、今年度は次の3つのことに力を注いでいきます。

◎「思考する力」の育成に努めます

「思考する力」は、よりよい考えを見出せるよう、自分の考えと友達のを考えをつないで捉え直したり、既習事項や自分の経験をつないで考えたりする力です。まず、既習とのズレなどから「なぜだろう」「どうすればよいのか」という子どもたちの疑問から学習課題を設定します。次に、課題解決に向けてタブレットPC等を活用した友達との対話により、考えを広げ深めるように働き掛けます。

◎「かかわる力」の育成に努めます

「かかわる力」は、今、またはこれからの様々な人との出会いにおいて人間関係を築いていけるよう、互いに認め合い、支え合い、協働する力です。学年縦割りや構成するにじいろ班活動や行事等で、個々のよさが発揮されたり分担した役割を果たそうとする友達の姿を認めたりすることができるよう活動の場の設定や支援を行っていきます。

◎「自律する力」の育成に努めます

「自律する力」は、目標をもち、挑戦したり、粘り強く取り組んだり、思ったようにうまくいかなくとも気持ちを整えて乗り越えたりする力です。取組の結果にのみとらわれることなく、取組の過程を大切に活動を取り入れていきます。

昨年度、創立140周年を経た山田小学校の歴史と伝統を礎に、新たな一歩を踏み出す年です。私たち職員一同、3つの資質・能力の育成に重点を置いて、一生懸命に取り組んでまいります。